

神庭通信

(かにわ つうしん)



平成28年度 校長室だより

第12号 H29. 3. 21



日に日に春めいてくるこの季節、学校周辺を見渡すと春の花が咲き始め、木々の小さな新芽があちらこちらで見られるようになりました。冬には葉を落としていた樹木から小さな芽が顔を出している様子は、卒業や進級という節目を迎える児童生徒の成長と重なって見え、未来への希望や力強さを感じさせてくれます。

3月15日には高等部の卒業式、17日には小学部と中学部の卒業式を行いました。24日は修了式です。

この1年間の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

卒業おめでとうございます

高等部の卒業式の日には寒い日となりましたが、心温まる素晴らしい卒業式となりました。卒業証書を受け取る卒業生の表情や視線からは、喜びや誇り、自信や頼もしさがあふれていました。正面で卒業生一人ひとりに卒業証書をお渡ししましたが、堂々とした姿に胸が熱くなりました。53名の卒業生の皆さん、学校生活で学んだことやたくさんの思い出とともに、元気に社会に羽ばたいてください。皆さんの活躍と幸せを心から応援しています。



今年の卒業生が小学部を卒業した6年前は、直前に3月11日の東日本大震災があった年でした。中原養護学校ではその日午前中に高等部卒業式を行なっており、最初に大きく揺れたのは卒業生たちの下校が終わってまもなくのことでした。そのあと数日間は休校を余儀なくされ、翌週に予定されていた小中学部の卒業式も開催が危ぶまれましたが、日程を延期してなんとか年度末に式を行ったことを思い出しました。

それ以来、学校での防災訓練のあり方も大きく変わってきました。その一つとして、先日は訓練時間を明かさない形で「シェイクアウト訓練」(初動対応をとる訓練)を行いました。卒業式の季節は震災の教訓にあらためて向き合う時期でもあります。引き続き皆さまと力を

合わせ、取り組んでまいります。



高等部卒業式の2日後は小学部・中学部の卒業式でした。小学部7名、中学部8名の卒業たちは、心も身体も大きく成長した立派な姿を見せてくれました。小中学部の子どもたちにとっては練習や準備も含め「卒業式」もひとつの授業であり、それを通してたくさんのことを学び、またひとつ成長したことをあらためて実感しました。これまでにつけてきた力をたくさん発揮して、自分らしく一生懸命にがんばっている様子がすばらしかったです。

新しい学部でも、笑顔で元気にたくさんのごことにチャレンジしてほしいと願っています。